

“考える力”は“生きる力”

70歳を超えた今も大活躍中の三遊亭円楽師匠のことばです。
「考える力」は“生きる力”にきつとなります。



～ 落語を通して ～

映画、テレビ、漫画、お芝居。巷に溢れてるものは画を想像する必要がないモノばかりです。小説、ラジオのような少ない情報の中から画を想像していくモノはどんどんなくなっていっております。しかし、この「画を想像する力」は児童・生徒さんの成長過程でたくさんのことに役に立つ力です。

落語は画を想像していただかないと全く面白味がありません。

若い人、お年寄り、子供、様々な人を一人の芸人が会話だけで表現していきます。

落語を通して、楽しみながら画を描く力を養って頂けるプログラムとなっております。



三遊亭楽生(さんゆうてい らくしょう) (監修)

1997年4月 6代目三遊亭 円楽(三遊亭 楽太郎)に入門、「楽花生」を名乗る

2001年3月 同名のまま二つ目昇進

2008年3月 「楽生」と名を改め真打昇進

笑点でお馴染み6代目三遊亭円楽の総領弟子

上智大学非常勤講師

埼玉応援団員(埼玉県観光大使)

さいたま観光大使(さいたま市観光大使)

幸手市しあわせ応援大使(幸手市観光大使)



幽霊の場面

笛で「ヒュー」
大太鼓で「ドロドロドロ…」



川の場合

大太鼓で速い川なら「ドンドン」
遅い川なら「どーんどーん」



夜の場面

先の丸いバチでぞらを
「ぼーん…」とつく



鉦(かね)



どら

韓太鼓